

[難波島渡しの廃止]

渡しは、橋がかかり、道路整備が進んでマイカーやバイクの利用が増えるに連れて客足が遠のき、時代の波と共に消え去る運命にある。木津川筋の難波島渡しは、昭和57年5月31日限りで、安治川の富島渡しとともに廃止となり、市内の渡しは残り10箇所となった。最終便は午後7時27分、大正区三軒家3丁目の渡船場を全長11メートルの第1住吉丸が5人の客を乗せて出発、約3分後に対岸の浪速区木津川2丁目から6人を乗せて引き返し、運行を終えた。最後のこの日の利用者は64往復119人で、ビデオやカメラを持った地元の人が目立った。『大正区史』より抜粋



建設中の国道43号と難波島渡し
(大阪市建設局ホームページから転載)

